

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.20

発行
社団法人 青森県畜産協会

第9回青森県肉用牛・農用馬・乳用牛共進会 開催される

平成24年8月24日～25日、七戸町の青森県家畜市場構内において第9回青森県肉用牛・農用馬共進会及び乳用牛共進会が開催された。

肉用牛・農用馬共進会では黒毛和種、日本短角種合せて91頭、農用馬6頭、乳用牛共進会では64頭が出品され日頃の飼養管理技術の成果を競い合った。

審査委員長である金澤勝昭県産業技術センター畜産研究所長からは「肉用種牛の部では全体的に良好な発育で体積も十分なものが多く出品された。第1花国以外の新しい種雄牛を交配した若牛の出品が少なかったのが惜しまれる点だが、バランスに優れた良い牛が多く出品されていたのは改良の成果の現れである。」との講評があった。

特に今回は10月に長崎県で全共が開催されることから非常に活気ある共進会となった。優秀な成績を残した団体に贈られる青森県優勝旗は、肉用種牛の部の黒毛和種には田名部畜産農業協同組合、日本短角種には五戸畜産農業協同組合、乳用種牛にはおいらせ農業協同組合に贈られた。農林水産大臣賞は東通村の熊谷一さん出品の「おうか」（父：第2平茂勝、母の父：第1花国）と三沢市の梅津誠さん出品の「ミスビードル・アドベント・ハッピー」が受賞した。

また、親子バター作り体験や模擬乳搾り競技、短角牛肉の即売会なども併せて行われ賑わいを見せていた。

農林水産大臣賞 受賞者



（熊谷 一氏（東通村）と出品牛「おうか」）



（梅津 誠氏（三沢市）と出品牛「ミスビードル・アドベント・ハッピー」）

生産者補てん金 交付状況

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業 補填金交付状況

	肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成24年6月期	30,900円	114,100円	76,400円	8月23日
平成24年7月期	25,400円	115,500円	75,000円	9月24日
平成24年8月期	82,400円	122,000円	79,600円	10月23日

肉用牛肥育経営緊急支援事業緊急支援金返還状況等について

1 緊急支援金返還状況（平成24年9月28日現在）

・緊急支援金交付額：1,324,800千円（平成23年10月7日付けで交付）

① 緊急支援金返還請求に係る返還実績額について

第3回返還請求（平成24年8月27日付け）を実施したところ、返還期日までに33,450千円が返還された。返還実績額は合計で306,700（23.2%）千円となる。

② 独立行政法人農畜産業振興機構への返還実績額について

返還実績額は273,250千円であり、第3回返還請求に係る返還金については、平成24年11月末日までに返還する予定となっている。

2 第4回緊急支援金返還請求及び返還スケジュール

① 第4回返還請求について：平成24年7～9月期における販売異動及び請求月齢の超過があった個体に対し、平成24年11月26日（予定）までに返還請求を実施する。

② 第4回返還請求に係る返還金の返還及び返還計画の提出について：平成24年12月26日（予定）までを返還期日とする。

但し、第4回返還請求に係る返還金を全額返還する場合は、返還計画の提出は不要であり、返還期日までに返還が困難な場合に限り、返還計画を平成24年12月21日（予定）までに提出する。※既返還請求における未返還分について、第4回返還請求と合わせ請求する。

お問い合わせ先 経営支援課 TEL：017-723-2775

肉用子牛生産者補給金運営適正化事業 北海道・東北ブロック研修会 開催

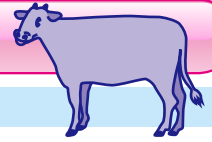
9月10・11日の2日間にわたり、肉用子牛生産者補給金運営適正化事業に係る北海道・東北ブロック研修会が岩手県盛岡市で開催された。

各地域のブロックに分けられた研修会は、今回が初めての開催となった。

研修会では、肉用子牛生産者補給金制度の成立前の状況や昭和40年代からの子牛価格の動向とその背景等から現在までの経緯と、肉用子牛生産安定特別措置法や農畜産業振興機構法をもとに独立行政法人農畜産業振興機構の設立の経緯や目的を学んだほか、事務処理手続きや事業の適正な実施について、事業マニュアルに基づきながら改めて確認した。

また、各県の家畜市場の状況や具体的な事務処理についての意見交換や情報交換を行い、より制度の理解を深めた。

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表

【開催日 24年8月10日】<速報値>

1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種 【小計】	雄											
	去	265	639,450	193,200	476,335	298	314	1,516	320	482,062	1,502	14
	雌	225	794,850	79,800	359,445	308	291	1,236	227	374,276	1,273	-37
	主	490	794,850	79,800	422,661	303	303	1,393	547	437,332	1,412	-19
	主	14	568,050	290,850	398,775	282	284	1,403	23	436,526	1,470	-67

・黒毛和種の取引頭数は490頭で、前回より去勢55頭減、雌2頭減、全体で57頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は423千円で、前回より去勢6千円安、雌15千円安、全体で15千円安となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	120	490,534	317	1,546	299	107	366,754	297	1,236	309	227	432,188	1,405	304	46.3
安茂勝	30	485,170	321	1,512	290	22	348,218	291	1,195	307	52	427,229	1,385	297	10.6
北平安	11	457,705	318	1,439	311	4	305,025	256	1,193	320	15	416,990	1,383	314	3.1
福安照	6	440,475	294	1,500	306	8	369,731	301	1,230	311	14	400,050	1,344	309	2.9
第2花国	6	453,950	305	1,490	309	7	328,350	271	1,211	312	13	386,319	1,348	311	2.7
百合茂	7	521,550	323	1,617	294	5	426,720	306	1,395	305	12	482,038	1,527	299	2.5
											※その他省略				
総合計	265	476,335	314	1,516	298	225	359,445	291	1,236	308	490	422,661	1,393	303	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で46.3%、次いで「安茂勝」10.6%となった。
 ・第1花国の平均価格は432千円で、前回に比べ27千円安となった。単価は1,405円で前回より43円安となった。

【開催日 24年9月7日】<速報値>

1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種 【小計】	雄											
	去	270	743,400	112,350	484,571	293	304	1,592	265	475,959	1,515	77
	雌	193	676,200	124,950	382,080	305	281	1,359	225	359,445	1,236	123
	主	463	743,400	112,350	441,848	298	295	1,499	490	422,458	1,392	107
	主	20	737,100	283,500	426,878	302	297	1,436	14	398,775	1,403	33
日本短角種 【小計】	雄											
	去											
	雌	1	120,750	120,750	120,750	302	275	439				
	主	1	120,750	120,750	120,750	302	275	439				
乳用交雑種 【小計】	雄	1	131,250	131,250	131,250	261	251	523				
	去											
	雌	1	169,050	169,050	169,050	262	225	751				
	主	2	169,050	131,250	150,150	262	238	631				

・黒毛和種の取引頭数は463頭で、前回より去勢5頭増、雌32頭減、全体で27頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は442千円で、前回より去勢9千円高、雌23千円高、全体で19千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	123	492,791	303	1,628	295	86	387,328	287	1,348	308	209	449,395	1,517	300	45.9
安茂勝	33	493,977	314	1,574	288	29	379,919	287	1,324	297	62	440,627	1,463	292	13.6
福安照	9	520,333	305	1,709	291	7	364,950	270	1,350	313	16	452,353	1,562	300	3.5
第2花国	9	423,967	285	1,488	302	7	366,450	265	1,383	310	16	398,803	1,444	305	3.5
百合茂	11	536,836	318	1,689	287	4	448,088	296	1,513	320	15	513,170	1,644	295	3.3
茂洋	7	560,850	325	1,726	282	5	449,610	288	1,561	301	12	514,500	1,662	290	2.6
											※その他省略				
総合計	265	487,057	305	1,599	293	190	383,139	281	1,362	305	455	443,663	1,505	298	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で45.9%、次いで「安茂勝」13.6%となった。
 ・第1花国の平均価格は449千円で、前回に比べ17千円高となった。単価は1,517円で前回より112円高となった。

次回開催日は10月12日（金）です。

西北地域での立毛放牧実証展示始まる

前号の畜産協会だよりでご紹介した水田を活用した「立毛放牧」の実証展示が、つがる市木造地区で始まった。

西北地域県民局では、飼料価格が高止まりしている状況の中、飼料自給率の向上を図るべく、県内でも有数の稲作地帯という優位性を生かし、水田を活用した「立毛放牧」に県内で初めて取り組んでいる。

「立毛放牧」とは、牛をイネの乳熟期以降に水田に放牧し、移動可能な電気牧柵を立毛状態のイネの手前に設置し、その下のイネを牛に食べさせる方法だ。株元まで食べたら電気牧柵を徐々に移動させていく。東北では秋田県が平成20年から取り組んでいることから、情報交換等を行い適切な作業に取り組むこととしている。

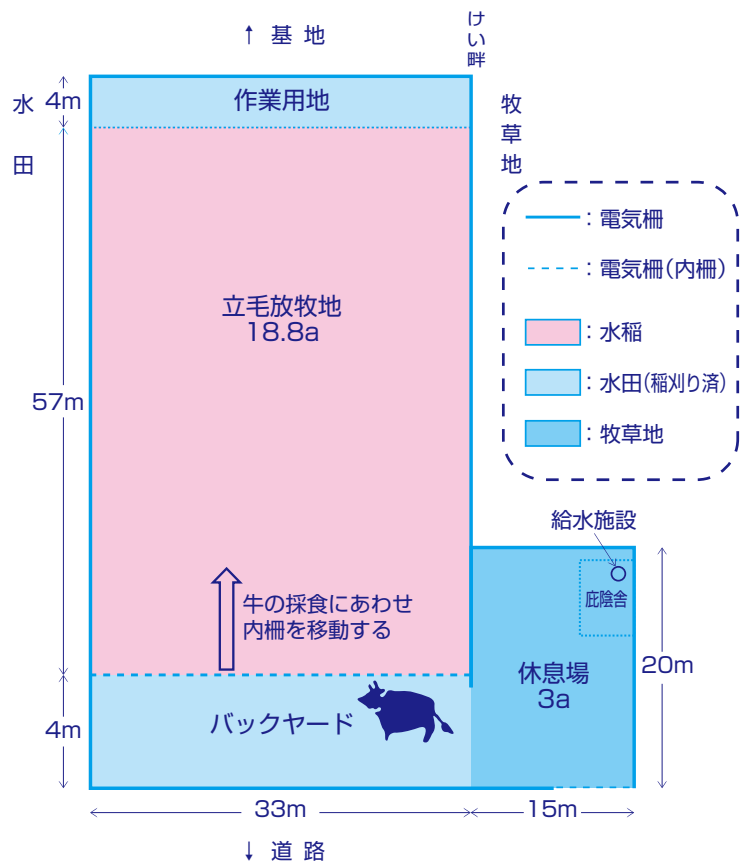
放牧は9月11日から始まっており、10月下旬頃を終了予定としていることから、次号以降の畜産協会だよりで内容を紹介する。

《実証展示の実施方法》

- (1) 実証は場の面積：つがる市川除 約24.4a
(放牧地約18.8a、休息地等約5.6a)
- (2) 放牧頭数：肉専用種繁殖雌牛 3頭
- (3) 実施方法
 - ・通常に栽培した水稲（水田）の周囲に電気牧柵を設置し、牛を昼夜連続して放牧する。
 - ・効率的に飼料を食べさせるため、食べる範囲を制限する電気牧柵（内柵）を設置し、食べ具合に応じて内柵を移動させる。



《ほ場平面図》



十和田地域のエコフィード生産へ向けた取り組み

8月8日十和田市にて十和田地域エコフィード推進協議会の会合が行われた。

当協議会は十和田地域の未利用残渣を飼料化し、資源循環型の畜産を確立するため平成22年度から活動している。

昨年度までに実施した賦存量調査の結果より、十和田地域で利用できる食品残渣は野菜くずが中心となることがわかったため、今年度は野菜残渣を中心としたエコフィード生産に取り組むことで合意した。

また今年度は、五戸町、六戸町、新郷村を中心とした住民向けの普及啓蒙活動や、人参エコフィードを使った給餌試験並びにエコフィード豚肉の試食会などを予定している。年度末には、この三年間の取組みをまとめ、今後の事業化へ向けた関係者による検討会を開催予定だ。

県産「あしざわ牛」お披露目会 開催

9月19日青森市にて、みちのく銀行主催の「あおもり和牛地産地消お披露目会」が開催された。地産地消を通じて生産者と消費者の結びつきを強め、地域の食産業の充実・強化につなげることが目的だ。

お披露目会では、地域の食品製造業者の残渣（ながいも等の皮・しょうゆかす・おから等）を独自ブレンドした飼料で飼育された「あしざわ牛」が振る舞われ、三村県知事をはじめ、市内の飲食店のシェフや畜産関係者等が試食した。生産者の芦沢定人氏（十和田市）は、あしざわ牛は一般的な飼育和牛と比較し、旨み成分のオレイン酸含有率が高く、肉質もやわらかいことが特徴と話した。今後は飼料用米を利用して100%脱トウモロコシに取り組む、配合飼料価格相場に左右されない生産をめざしている。

あしざわ牛は、青森市の焼き肉店『いわや』にて期間限定で提供している。（青森市）



平成24年度 北海道・東北ブロック職員等研修会

9月20日（木）、21日（金）の両日、平成24年度北海道・東北ブロック研修会が福島県郡山市にて開催された。

各県から担当者約40名が参加し、初日は経営支援・衛生両部門の合同で研修会が行われ、開催県である福島県畜産振興協会 松川専務理事挨拶のあと、中央畜産会 近藤常務が最近の畜産を巡る情勢等について、また各県の検討課題・問題点等について情報交換が行われた。2日目は、雨がぱらつくあいにくの天気であったが、「郡山石筴ふれあい牧場」及び「酪王乳業(株)工場」の2か所を視察した。

なお、来年は山形県で開催される予定である。

平成24年度 地方特定品種全国推進会議

9月13日～14日、秋田県で地方特定品種の全国推進会議が開催された。

13日は鹿角市にある秋田県畜産農業協同組合の繁殖肥育センターと日本短角種の放牧場である熊取平牧野を現地視察した。秋田県北の鹿角市で飼育されている日本短角牛は「かづの牛」と呼ばれ、鹿角市の4ヶ所の公共牧野で約100頭放牧されている。鹿角市では平成25、26年度に300頭規模の畜産団地を建設予定で、行政による増頭支援策も講じられており、県、市、畜産農協が一体となった生産振興体制が図られていた。

14日の全体会議では、帯広畜産大学の口田教授による赤身肉の新たな肉質評価法に関する講演が行われた。口田教授は、従来の脂肪交雑を中心とした肉質重視の基準ではなく、短角牛に特化した独自の評価基準を研究・開発しており、昨年度の北海道日本短角種枝肉共励会ではこの評価法を取り入れて審査が行われ、今年度もまた取り入れる予定である。まだ市場取引に通用する基準ではないが、今後確立されていくことに期待したい。



家畜衛生 会議&研修会のご案内

I 農場飼養衛生管理強化対策事業に係る研修会及び地域自主防疫活動普及・啓発事業推進会議

〈内 容〉

- (1) 農場飼養衛生管理強化対策事業について
- (2) 市場上場牛に係るワクチン接種について
- (3) 牛の呼吸器病疾病（ヘモフィルス・ソムナス感染症）について

〈日時・場所〉

- ① 10月9日（火）午後2時 十和田家畜保健衛生所研修室
- ② 10月10日（水）午後1時30分 むつ家畜保健衛生所研修室
- ③ 11月13日（火）午前10時30分 つがる市柏ふるさと交流センター
- ④ 11月14日（水）午後1時30分 八戸家畜保健衛生所 2階

* 詳しくは価格安定・衛生課：TEL 017-722-4331

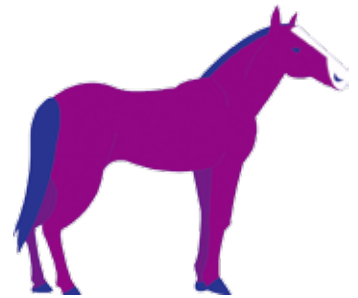
II 馬飼養衛生管理技術講習会開催要領

〈内 容〉 馬飼養衛生管理技術講習

〈日時・場所〉 11月9日（金）午後1時30分 サンロイヤル十和田

〈講 演〉 「本当にグイッポ（さく癖）は治す事ができないのか？
～動物の常同障害という病気について～」

〈講 師〉 北里大学 獣医学部 動物資源科 動物行動学研究室
入 交 眞 巳（イリマジリ マミ）氏



Jr. 野菜ソムリエの
Sです。
畜産と野菜をあわ
せた情報をお届け
します。



Jr. 野菜ソムリエ Sさんの チクサンと野菜のマリアージュ さといものチョコディップ

里芋は食物繊維が豊富で低カロリー、糖分をエネルギーに変え、
ビタミンB₁が豊富です。

また余分な塩分を排出してむくみをとってくれるので、女性には
とっても嬉しいですね。



※材 料※

里 芋	
(蒸す or ゆでたもの)	150g
レーズン	2/3カップ
① { ココア	大さじ2
牛乳	大さじ2
ラム酒	小さじ1/2

- ① さといもの皮をむいて、やわらかくなるまで煮る。
- ② フードプロセッサーにまずレーズンを入れペースト状になるまでガーっとする。
- ③ さといもと①を加え、なめらかになるまでガーっとする。牛乳を加えることで風味が増します。
* クラッカーやパンと一緒にどうぞ♪

あおもり 堆肥ねっと

畜産堆肥 販売情報

健土くん (肥料系堆肥)



窒素 3.7% **リン酸** 4.3%

加里 2.5% **石灰** 16.0%

C / N 5

水分25%

●特徴●

酵素アミノ酸等が多く含まれ、食味糖度が増します。土地の保肥力が増加し、土を柔らかくします。有効成分が多く、不純物がありません。

価格 5kg袋 450円/袋
フレコンバック 5,000円/㎡
(配達についてはご相談下さい。)

販売先 有限会社 つがる
黒石市相野126
TEL 0172-52-4612 (日曜定休)

土作くん (土作り系堆肥)



窒素 1.1% **リン酸** 2.2%

加里 1.1% **C/N** 14

●特徴●

ぼかし肥料タイプ「土作くん」はN、P、KのほかCa、Mg、微量元素などを含み、追肥用としてもお使い頂けます。作物の生育に合わせて施肥部位を変えることによって根が伸びる環境を整えると同時に養分補給を行える低コスト資材です。

価格 16kg袋 486円/袋
バラ1tあたり 応相談
(配達はJAゆうき青森管内で可)

販売先 ゆうき青森農業協同組合
東北町字日影林ノ上山479-1
TEL 0175-62-2112

-  堆肥を施用する前に、土壌診断を受けましょう。
-  堆肥の購入に関する内容は、販売先にお問い合わせ下さい。

土壌診断は
お近くのJAへ



お知らせ

24年度産の稲わらに関する流通・利用について

青森県の24年度産の稲わらについて、放射性物質の検査結果、暫定許容量を上回る値は検出されませんでした。

よって、例年通り稲わらの流通・利用を行っても問題はありません。

なお、当該情報の詳細が知りたい方は県庁ホームページをご覧ください。





インフォメーション



畜産堆肥展示会のご案内



〈六戸会場〉 ヤンマー農機販売株式会社展示会と合同開催

11月14日(水)～16日(金) 9:30～15:00

場所 ヤンマー農機販売株式会社(六戸町大字折茂字沖山10-117)

〈弘前会場〉 青森県りんご品評会と合同開催

12月1日(土) 9:30～15:00

場所 弘果・弘前中央青果(弘前市末広1-2-1)

堆肥の展示や
相談コーナー、
サンプルプレゼント
もあります♪

24年度産の堆肥も展示します。

畜産経営支援教材 eラーニング

家畜の飼養管理や経営管理に必要なことをインターネット上で学ぶ学習教材サイトです。

教材の内容

- 経営分析力の向上(経営分析の手法)
- 経営の選択力の向上(法人化への道筋(基礎編))
- 生産技術の向上(エコフィードの活用、畜産環境整備)
- 飼養衛生技術管理の向上(衛生管理を高めるために)

利用までの手順は簡単!

CLICK <http://elearning.lin.gr.jp>

Webサイトにアクセスし、登録すれば
ご利用になれます。

提供:畜産経営支援協議会

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)

経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課 Tel(017)722-4331(衛生)

Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

E-mail info@aomori.lin.gr.jp